

ねらい

- 沢周辺で採集できるものを使って、作品作りや調理等につなげることができる。
- 自然の恵みを直に感じることができる。

| | |
|----------|---|
| 活動に適した人数 | 30名程度（ツルは作品によって異なる） |
| 対象年齢 | 小学生以上 |
| 指導者の割合 | 20名に1～2人 |
| 季節 | ツル：秋（水分が抜ける季節・カビ防止） 山菜：春から初夏と、秋 水晶石：春から初冬 |
| 所要時間 | 採集活動に3時間 採集したものをを使っての創作・調理等に3時間 |
| コース | ツル、山菜：上流部 石、水晶：砥沢周辺どこでも |
| 貸出できるもの | のこぎり |

展開

▼ 日常で事前に

- ・学校や家の周りで採集できるものにどのようなものがあるか調べる。採集できた石や植物について、どのように活用することができるかを調べたり、考えたりする。
- ・魚や植物等生きているものを採集することについて、目的やルールを確認する。
- ・自然の中で活動すること、安全管理を自分たちで意識しなければならないことについて個人で考え、グループで確認し合う。

▼ 自然の家での活動の流れ

とれたものを使って次の活動につなげることを伝える

- 本館を出発
- 採集を実施するコースへ
- 採集
- 採集したものを持って本館へ戻る
- 本館にて創作活動や野外炊事の活動

※ つりについては、漁業協同組合の規制と、自然の家の食堂が関わっていない生ものの持ち込みはできないことをふまえ、キャッチ&リリースを原則とします。

▼ 沢活動後自然の家での活動の流れ・日常に戻って

- ・花山の沢周辺で採集できた石や植物が、自分の身の回りで採集できるものと違いがあるかどうか違うか、違うとしたらなぜか、を考える。

- ・自分たちの採集の目的やルールが、活動を実施してみてどうだったかを話し合う。

安全管理

- 採集は夢中になりやすいので、グループから離れてしまったり、危険箇所に気づかず入ってしまったりするので、グループが散らばりすぎないように配慮する。
- ツルの切れ端等を持ち歩く際、周囲に十分気を配らせる。

活動展開例

- ツルや石を採集してツル細工やロック&ストーンクラフト等の創作活動をする。
- 採集の活動によって自分の手でとった山菜を使って、野外炊事する。
- 水晶や石を集めて、自分だけの標本を作る。

その他

- 先に採集するものを決定しないで、沢に出かけていくという過程でも面白い。例えば、「自分だけの宝物探し」と銘打って活動を展開し、採集できたものを加工し、「宝物」として持ち帰り、「食べられる草探し」と銘打って、食べられるかどうか調べる活動を取り入れる、等。
- 自然の事物を過度にとりすぎない指導をふまえて実施する